



大切にしたい風景

住まいをつくることは、環境に対して大きな影響を与えるということでもあります。その影響を十分認識しながら、より環境負荷の少ない工程や技術を実現できるよう環境活動を推進するとともに、研究・技術開発にも取り組んでいます。

関連する
SDGs
目標



『大切にしたい風景』を創造する4つの側面

資源循環

限られた地球の資源を用いて事業を行っていることを認識し、事業活動のすべてのプロセスで資源を大切に扱い、可能な限り循環させることを目指して取り組んでいます。

エネルギー・CO₂

マンションは、つくるときはもちろん、使うときにも多くのエネルギーを必要とし、CO₂を排出することから、企画・設計段階から維持・管理まで含めた配慮を進めています。

汚染予防・周辺環境配慮

マンション開発にあたっては、土壤や水質、日照や騒音などによる悪影響を及ぼさないための配慮を徹底するとともに、地域の憩いの場となる緑地の造成なども積極的に提案しています。

サプライチェーン

地球環境を守り、育むための取り組みは、長谷工グループのみで実現できるものではありません。協力会社等とも連携しながら、活動を推進しています。

環境マネジメントシステム

環境活動を推進・展開していくために、それぞれの部門で環境目標・目標値を掲げ、着実に取り組んでいます。

長谷工コーポレーション 環境方針

当社は、企業理念である「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」に基づいて、以下を環境方針として掲げ、よりよい地球環境の保全並びに改善を目指して活動します。

1. 環境保全活動を推進していくための環境マネジメントシステムを確立、運用、継続的な改善及び汚染の予防を図り、資源の有効利用、地球温暖化の防止並びに生物多様性の保全を推進します。
2. 環境に関する法規、協定などを順守するとともに、必要に応じ自主基準を策定し実行します。
3. 事業活動の環境影響を評価し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を設定し、定期的にレビューを行います。
4. 環境保全活動を推進するために、以下の項目に注力し取り組みます。
 - (1) 建設廃棄物の削減とリサイクル及び周辺環境に配慮した施工
 - (2) 環境に配慮した設計の提案
 - (3) オフィス業務では、省エネルギー、資源の有効利用、グリーン購入の推進
 - (4) 環境負荷低減のための技術開発の推進
5. 当社全役職員及び当社で従事する全ての人々に対して環境方針の周知を図ると共に、協力会社に本方針の周知と協力を要請します。
6. 環境方針は公開します。

長谷工グループ 生物多様性行動指針

基本理念

長谷工グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」をグループ理念に掲げ、企業活動を行っています。人や企業は、自然環境からの様々な恵みを享受していることを認識し、生物多様性に配慮した企業活動を行うことにより、この保全並びに改善に資するよう努め、より快適で持続可能な地球環境を目指して参ります。

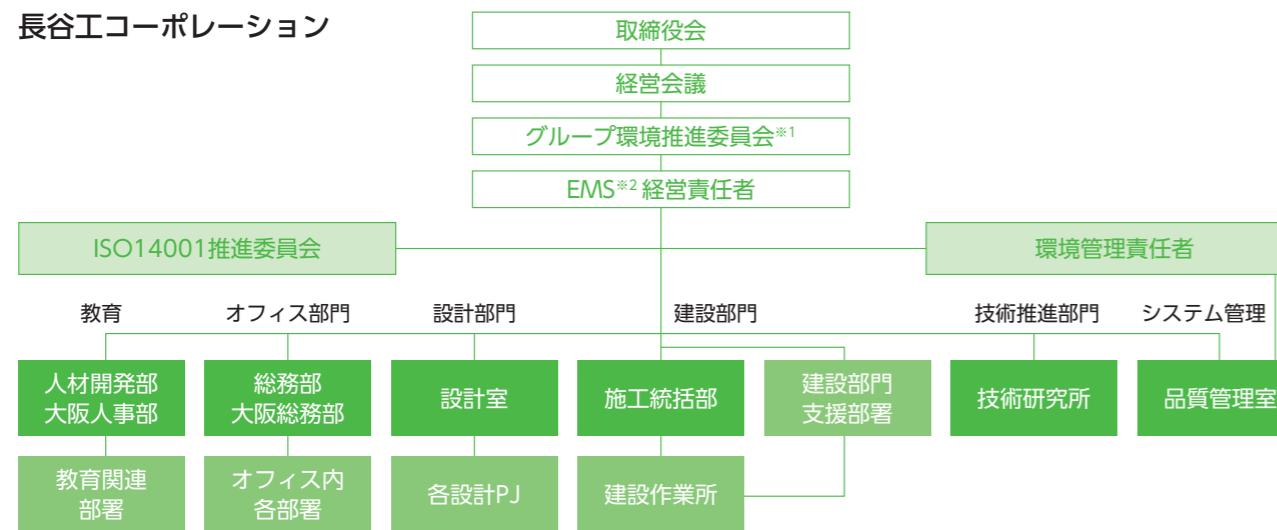
行動指針

1. コンプライアンス
生物多様性保全に関する法令等を順守するとともに、関連政策や社会的要請を把握し、その知見を事業活動に反映するよう努めます。
2. 教育啓蒙
生物多様性の保全活動のために必要な知識・法令等の情報を、社内教育等を通じて普及展開し、生態系の価値に対する社員の認識を高めます。
3. 建設事業における配慮
生物多様性に配慮した計画・設計・提案の実施、工事による影響の回避・低減に努めます。
4. 研究開発
生態系に関する情報や技術的知見の集積を行い、関連する技術研究開発を進めます。
5. 社会との協調
地域の環境保全活動や学会・協会活動への参加を通じて、社会への貢献に努めます。

※「大切にしたい風景」では、原則として長谷工コーポレーションの活動を報告しています。本文中の「当社」は長谷工コーポレーションを指します。

環境マネジメントシステム推進体制

長谷工コーポレーション



環境マネジメントシステムの状況

長谷工コーポレーション・長谷工リフォームでは、ISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、環境活動の継続的な管理・改善を図っています。

認証取得の経緯

長谷工コーポレーションでは、2001年7月に関西地区、10月に東京地区で認証を取得しました。2013年10月に環境マネジメントシステムを東西地区統合し運用しています。

長谷工リフォームでは、2014年3月に認証を取得しました。(東京・関西支社)。2018年4月に2015年版への移行及び、ISO9001品質マネジメントシステムと統合し運用しています。

取り組みと継続的な改善

環境保全活動を進めるにあたり、環境方針を策定、各部門は環境方針を受け環境目標・目標値を定め推進しています。

環境マネジメントシステムが規格要求事項を含め当社の取り決めに適合しているか、また適切に実施され維持されているかを内部監査及び外部審査によりチェックし、その結果を踏まえ、見直しを行い継続的な改善を図っています。

2018年度の外部審査受審日及び指摘件数は以下の通りです。

	登録日 更新日	外部審査受審日	外部審査 指摘件数
長谷工 コーポレーション	2001.10.1 2016.10.1	2018.7.24~25	なし
長谷工 リフォーム	2014.3.13 2018.4.19	2019.2.5~14	なし

環境法規制の順守状況

2018年度は、工事に伴う環境に関する法違反はありません。

2018年度環境目標・目標値と結果及び2019年度計画

2018年度環境目標・目標値と結果及び2019年度計画は以下の通りです。

2018年度環境目標・目標値と結果

部門	環境目標		目標値	東京地区		関西地区	
	結果	評価		結果	評価	結果	評価
設計部門	環境配慮設計の提案	環境配慮チェックシートの活用	採用件数÷提案件数≥95%	98.0% (90件)	○	97.9% (27件)	○
	地球温暖化の防止	新CO ₂ 排出量算定プログラムの活用	CO ₂ 削減率10%以上 (2016年建築物省エネ法基準・建物全体)	11.6% (90件)	○	11.3% (27件)	○
施工部門	建設廃棄物の削減 【混合廃棄物排出量(2011年度比)を2020年度までに25%削減】	建設廃棄物の削減	混合廃棄物7kg/m ³ 以下 (82件)	5.4kg/m ³ (82件)	○	3.8kg/m ³ (44件)	○
	混合廃棄物のリサイクル化	リサイクル率75%	80.57% (82件)	○	83.09% (44件)	○	
オフィス部門	地球温暖化の防止 【CO ₂ 発生原単位(13.8t-CO ₂ /億円)を2020年度までに7%削減】	CO ₂ 排出量の削減	発生原単位 12.9t-CO ₂ /億円以下 (82件)	10.18 t-CO ₂ /億円 (82件)	○	10.69 t-CO ₂ /億円 (44件)	○
	省エネルギーの推進 【2019年度まで2011年度実績値以下とする】	電力使用量の削減	2011年度実績値以下	-3.9%	○	-17.6%	○
資源有効利用	コピー用紙使用量の削減 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 2UP以上比率3.1%	3.8%	○	3.7%		○
	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 両面比率30%	38.9%		32.4%		
技術推進部門 技術研究所	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	購入率90%	94.9%	○	93.3%	○	
	環境負荷低減に資する研究開発	研究開発課題の年間着手件数	5件以上	80% (4件)	△		
	年間目標に対する平均進捗率	年間目標に対する平均進捗率	90%以上	96% (10課題)	○		

2019年度計画

部門	環境目標		目標値
設計部門	環境配慮設計の提案	環境配慮チェックシートの活用	採用件数÷提案件数≥95%
	地球温暖化の防止	新CO ₂ 排出量算定プログラムの活用	CO ₂ 削減率10%以上 (2016年建築物省エネ法基準・建物全体)
施工部門	建設廃棄物の削減 【混合廃棄物排出量(2011年度比)を2020年度までに25%削減】	建設廃棄物の削減	混合廃棄物7kg/m ³ 以下
	混合廃棄物のリサイクル化	リサイクル率75%	CO ₂ 排出量の削減
オフィス部門	地球温暖化の防止 【CO ₂ 発生原単位(13.8t-CO ₂ /億円)を2020年度までに7%削減】	CO ₂ 排出量の削減	発生原単位 12.9t-CO ₂ /億円以下
	省エネルギーの推進 【2019年度まで2011年度実績値以下とする】	電力使用量の削減	2011年度実績値以下
資源有効利用	コピー用紙使用量の削減 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 2UP以上比率3.1%	3.8%
	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	コピー・プリンター 両面比率30%	38.9%
技術推進部門 技術研究所	文房具グリーン購入の推進 《未達拠点の周知徹底》	購入率90%	94.9%
	環境負荷低減に資する研究開発	研究開発課題の年間着手件数	5件以上
	年間目標に対する平均進捗率	年間目標に対する平均進捗率	90%以上